

【12月調査】を活用し、これまでの指導の効果を検証しましょう！

今年も残すところ一月あまりとなりました。各学校においては、「学力向上対策評価シート」をツールとして活用しながら、学力向上に向けたPDCAサイクルが組織的に推進されているところだと思います。

こうした中、いよいよ、12月5日(火)・6日(水)には佐賀県小・中学校学習状況調査「12月調査」が実施されます。

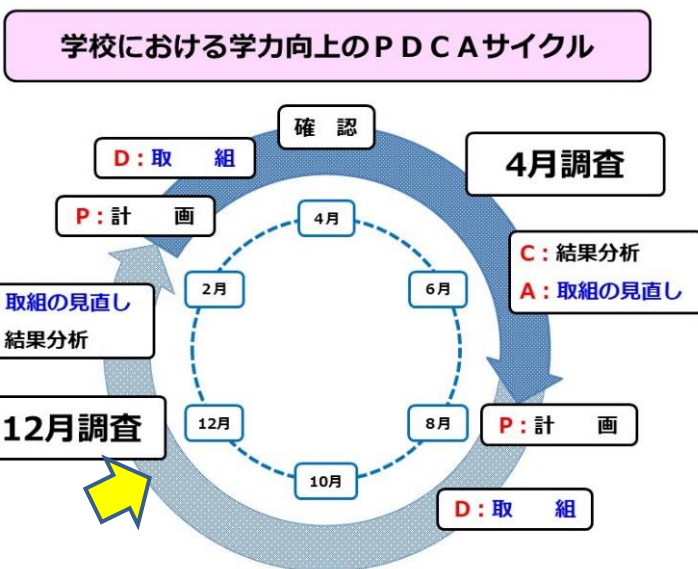
この調査は、

- ・先生方にとっては、昨年度の結果分析を受けて、それ以降の指導の効果を検証する機会
- ・子どもたちにとっては、当該学年での学習内容の定着状況を把握する機会

といえます。出題範囲についてはすでにお伝えしていますが、調査対象教科の現在の進行状況を確認するとともに、子どもたちへ事前に調査の目的等の説明を十分行った上で、実施するようお願いします。

また、調査実施から採点及び採点結果入力についても【参考資料】(P2)でスケジュールを確認していただくとともに、**一部の先生に業務が偏ることのないよう、校務の調整を行い、業務の優先順位をつけるなど**、円滑に取り組んでいただきますよう、あわせてお願いします。

現在、PDCAサイクルのこのあたりです。



調査の実施にあたっては、実施後に調査結果から明らかとなった課題等を踏まえて、

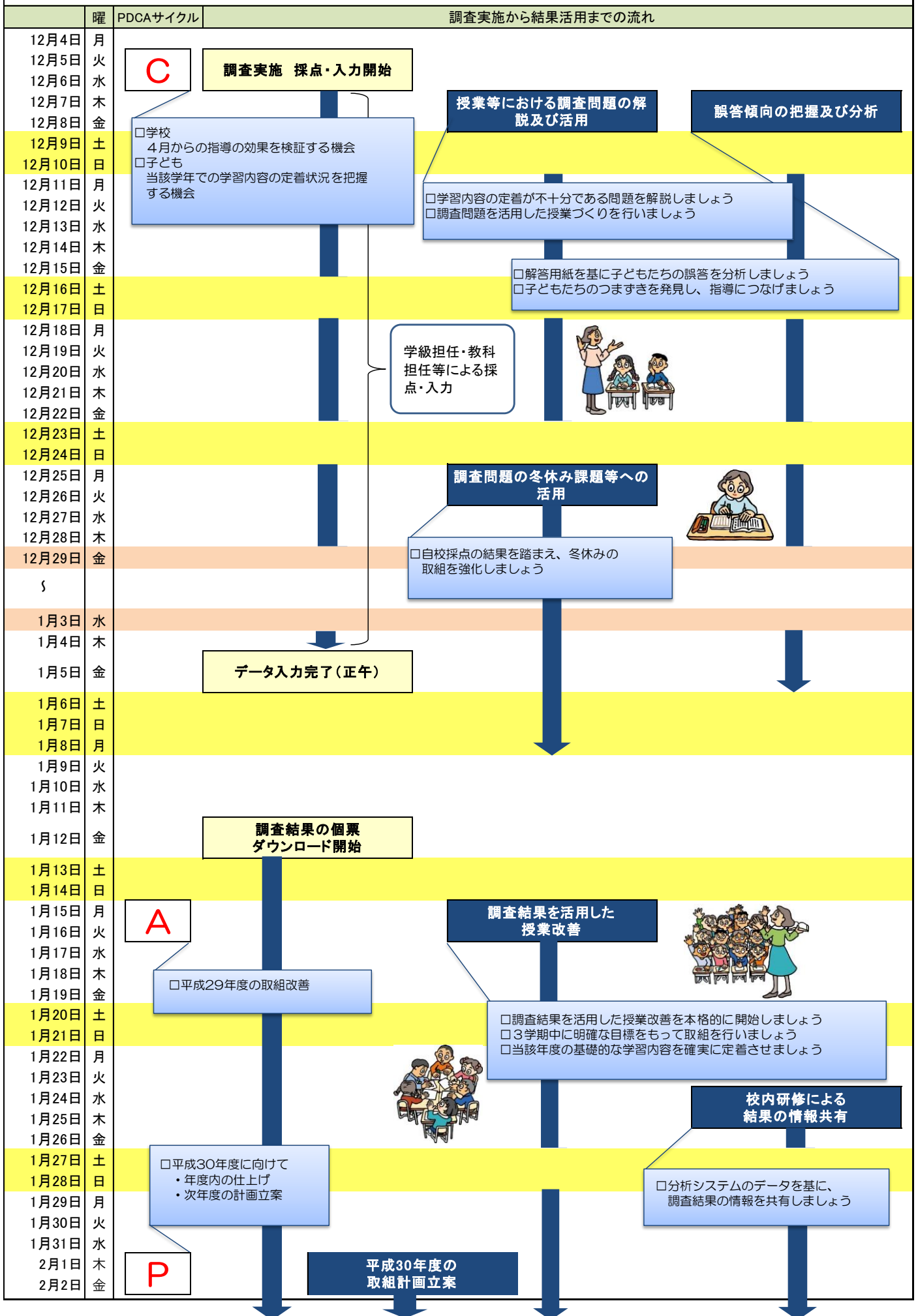
- ・これ以降の指導にどのように活かしていくのか
- ・次年度にどのようなことに取り組むのか

といったことを、具体的に実践したり計画したりすることをあらかじめ見通しておく必要があります。

◆12月調査実施日程◆

| 対象学年 | | 12月5日(火) | | 12月6日(水) | | |
|------|-----|----------|----|----------|----|----|
| 小学校 | 4年生 | 国語 | 算数 | 理科 | 社会 | |
| | 5年生 | 国語 | 算数 | 理科 | 社会 | |
| | 6年生 | 国語 | 算数 | 理科 | 社会 | |
| 中学校 | 1年生 | 国語 | 数学 | 理科 | 社会 | 英語 |
| | 2年生 | 国語 | 数学 | 理科 | 社会 | 英語 |

【参考資料】平成29年度[12月県調査]の実施から結果活用までの流れ



中学校の定期テストで「活用に関する問題」を出題していますか？

各中学校ではまもなく期末テストが実施される時期ではないでしょうか。ここでは、「定期テストに活用に関する問題を取り入れる取組」を紹介します。

みやき町教育委員会の取組

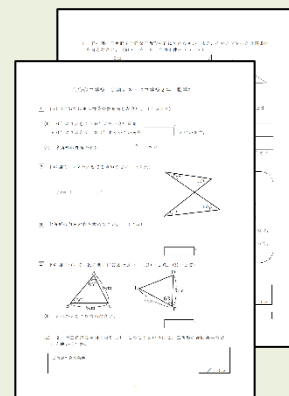
事例 1

【目的】

全国調査、県調査において、特に中学校数学で活用に関する問題の正答率が継続して厳しい結果であることから、町内中学校で共通に実施する活用問題作成を中心とした取組を通して、指導方法改善と生徒の活用力向上を目指す。

【実施方法】

- ・町内中学校の数学教員で1・2年生の定期テスト（数学）の活用問題作成と結果分析を行う。
- ・作成した活用問題（1問）を各学校で共通して実施する。
- ・1学期末テスト、2学期中間テストにおいてすでに実施済み。



（イメージ）

【成果・展望】

- ・問題作成や結果分析などの取組を通して、指導事項について共通理解を図ることができた。
- ・集計結果の比較分析について、2回目からは誤答例を持ちより検討することとしている。今後は分析結果を各学校での指導に活かしていきたい。

佐賀大学教育学部附属中学校の取組

事例 2

【目的】

※附属中学校は、「児童生徒の活用力向上研究指定事業」の研究協力校です。

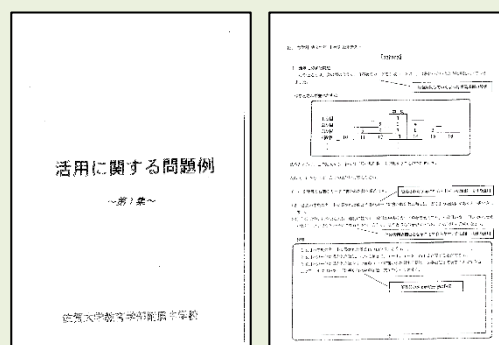
各教科等において活用力を意識した授業改善をさらに推進するために、定期テストにおいても「活用に関する問題」を出題する取組を行う。

【実施方法】

「活用に関する問題作成の視点」を基に「活用に関する問題」を作成し、定期テストで出題。

【成果】

活用力育成まで指導の射程を広げることにより、日々の授業における指導目標やめあて等の焦点化を図ることができた。



附属中学校が作成した「活用に関する問題例～第1集～」は、すでに各中学校へ送付していますので、ご利用ください。

日々の授業の中で行われている、基礎的な知識や技能を活用する力を高めるための指導の成果を、定期テストにおいても把握することで、さらに授業改善へつなげていくことができます。ぜひ、参考にしてください。

また、各学校で活用に関する取組（例：テストへの出題、宿題など）があれば教育振興課までお知らせください。 →【アドレス】 kyouiku-shinkou@pref.saga.lg.jp